



ご協力いただきましたみなさま、一年間ありがとうございました！



2015年7月26日「親子の日」スーパーフォトセッション終了後の記念写真

ご協力いただきましたみなさま、一年間ありがとうございました！

◆井口康弘◆石井正人◆石川亮介◆石川勝一郎◆石原繁◆磯貝日月◆井上佳子◆井上泰広◆稲里久美子◆稲留正英
◆猪股敏郎◆岩上円香◆上田壮一◆江口カエ◆大関和彦◆ブルースオズボーン◆実佳オズボーン◆由良オズボーン
◆岡崎由子◆岡安香織◆隠岐浩史◆川崎美智子◆垣内ゆきこ◆金子涼子◆岸俊一◆小高富士子◆櫻井武司◆櫻井健太
◆佐藤零◆佐藤宏◆沢田節子◆沢田藍子◆沢田桃子◆志喜屋秀壮◆関智◆関宴子◆関ひばり◆袖岡敦史◆高野勝◆滝村雅晴
◆高須久絵◆田中勇樹◆田原佳代子◆手塚俊兵◆中内朋子◆中村コウヘイ◆長塚かおる◆野知潤一◆樋貝美紀◆樋貝吉郎
◆福原義久◆古河雄太◆古田裕江◆松井ヒカル◆松井博司◆松浦有◆松崎稔◆溝口まゆみ◆宮庄宏明◆元木行哉
◆森田わかな◆森田似季◆八木健太◆山田一彦◆山田洋◆山田義章◆山辺真幸◆柚木公奈◆横山泰介◆吉田幸◆渡辺熱

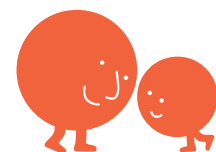
(あいうえお順・敬称略)



親子の日普及推進委員会
<http://www.oyako.org>

7月の第4日曜日は 親子の日 2015年 活動報告書

年に1度、親と子がともに向かい合う日があったっていい。
その日を通じて、すべての親子の絆が強められたら素晴らしい。
そんな願いを込めて、7月第4日曜日を「親子の日」にしたいと私たちは考えました。
2015年は、7月26日が「親子の日」。
みなさまからのご協力をいただき、
親と子の距離がぐっと縮まる数々のイベントを開催し、
多くの共感をいただくことができました。



OYAKO
DAY
2015
13th YEAR!

present to the future



「親子の日」は13回目！

親子の日普及推進委員会
<http://www.oyako.org>

present to the future

5月第2日曜日は、母の日。6月第3日曜日は、父の日。

7月第4日曜日は、親子の日。

『生まれて初めて出会う「親」と「子」の関係を見つめることは、家族、地域、社会、そして自然をも含むすべての「環境」に敬意をはらい、平和を願うこと』という思いを込めて、2003年に「親子の日」のオリジネーターの、米国人写真家ブルース・オズボーンは、7月の第4日曜日を「親子の日」にと提唱しました。その理念に共感し、「親子の日」を＜親と子がともに向かい合う日に、そしてその日を通じてすべての親子の絆が強められる日に。そしてさらには存在することに感謝できる日に＞との願いを込めて「親子の日普及推進委員会」が発足しました。

2015年も、「親子の日」を定着させるためのイベントを通じて、多くの素晴らしい出会いに恵まれ、非常に成果のあった一年でした。

ブルース・オズボーンの願いと私達の理念を少しでも多くの人たちに届けたいという思いが、年々具体化して、2016年には、シンガポールでの展覧会、写真撮影会などもすでに企画されました。



“present to the future”という「親子の日」のスローガンが表すように、「親子の日」に込めた思いは、きっと未来への宝物になると信じて、今後も活動を続けていきたいと思っています。

親子の日普及推進委員会
<http://www.oyako.org>

◆ブルース・オズボーン プロフィール <http://www.bruceosborn.com/>

Art Center College of Designで、コマーシャル写真を専攻。1980年の写真展「LA Fantasies」をきっかけに、日本での活動を本格的に開始。ボストン子どもの博物館の企画展「TEEN TOKYO」では、東京のティーンエージャーを撮影して展示。ボストンのMCET制作、インターネットを使っの双方向教育番組では8回にわたってディレクターを務め、アメリカの高校生にむけて“生の日本情報”を伝えた。

1982年から始めた「親子」写真の撮影は今年で34年目になり、撮影した親子の数は6000組を数える。2003年より7月の第4日曜日を「親子の日」と提唱したオリジネーターで、記念日協会にも登録。2014年に同協会から「記念日文化功労賞」を授与。「親子」をテーマにした写真展は、外国人特派員クラブ、横浜ランドマークタワー、山梨県立美術館、金沢21世紀美術館、愛・地球博園内愛知県児童総合センターなど、各地で数多く開催。2016年に在シンガポール日本国大使館JCCにおいて親子写真の展示会が実施される。2011年の6月から、「親子の日」公式プロジェクトとして被災地訪問を実施。また、「I TIE ☆ 会いたい」では、被災地でワークショップを実施。写真を中心に、子どもたちのネットワークづくりを構築。親子をテーマに撮影した作品とソーシャルアクションに大きな期待が寄せられている。

＜写真集・著書＞

「親子」(デルポ出版)
「Oyako」(INKS INC. BOOKS)
「KAZOKU」(角川書店)
「ごめんなさい」(日本標準)
「反パンビ症候群」(ヒヨコ舎)
「親馬鹿力」(岩崎書店)
「この国の環境」(アサヒビール・清水弘文堂書房)
「東日本震災復興支援ブックレット」(親子の日普及推進委員会)



「親子の日」の普及推進にあたって、2015年度は右記の企業と団体のご協力をいただきました。

●特別協賛

	オリンパス株式会社
	第一生命保険株式会社
	オーティコン株式会社
	DAC グループ
	三菱地所・サイモン株式会社
	株式会社あいプラン

●協賛

	東京都民銀行
	キョーリン製薬ホールディングス株式会社

●特別協力

	毎日新聞
--	------

●協力

エプソン販売株式会社／株式会社円谷プロダクション
協同組合日本写真館協会／株式会社浪漫堂／株式会社琉球補聴器
株式会社アルファ／お母さん業界新聞

●後援：J-WAVE／よしもと PAPAPARK

●Special thanks：山口県下松市／滋賀県米原市／石川県珠洲市
愛知県児童総合センター／Spaceport Inc.／東京 YMCA "liby"
BB スタジオ広尾／All American Supply, Inc.／Studio Bears
アライアンス・ポート／株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
下松商業開発株式会社／一般社団法人日本記念日協会／鵜沼海岸チャンネル
鬼頭印刷株式会社／株式会社山田製油／岩下食品株式会社／GMT foto @ KitaQ



今年は、バイオマスで発電する
〈兵庫バルブ工業株式会社谷川
工場発電所〉電力を使用



「親子の日」の活動では、グリーン電力 (1,000KW) を利用しています。



「親子の日」公式サイト <http://www.oyako.org>

日・英バイリンガルの「親子の日」情報発信プラットフォームです。「スーパーフォトセッション」で撮影した写真の掲載、「写真コンテスト」と「エッセイコンテスト」の公募と入賞者発表、「親子大賞」の投票と発表など、公式イベント情報とともに、協賛企業での活用例、各地に広がる「親子の日」の情報を掲載しています。

◆ オフィシャルサイト



present to the future

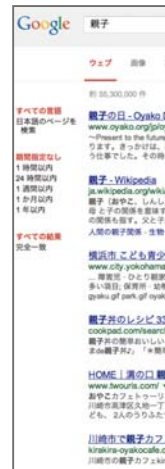
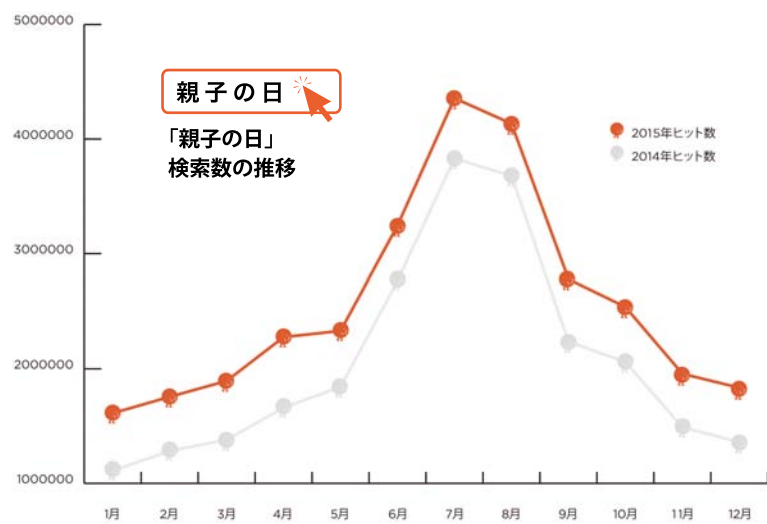


「親子の日」に関するイベント、ニュース、エッセイ、映画、ギャラリーほか、見てたえ読み応えのある内容に、サイトを訪れるみなさまからの高い評価をいただいています。



◆ SNSの活用

Facebook・Twitter・mixiなどのSNSを活用して、多くの人たちとのコミュニケーションをはかりました。2015年も、GoogleやYahoo!JAPANなどで「親子」を検索すると「親子の日」の公式サイトが常にトップにあり、「親子の日」に寄せられる関心の高さを実感しました。



「親子の日」2015年度の制作物

数多くイベントを催し、その際に制作物を多くの方に手渡しました。積極的なプロモーション活動が功を奏して、多くの方からの賛同をいただくことができました。

◆ 「親子の日」ポスター

▼ オリジナルポスター《A2 サイズ…500 枚》



リーフレット▶
《三つ折り観音開き…10,000 部》

▼ 「親子の日」フライヤー
《公式イベント紹介…30,000 枚》



フライヤーは「親子の日」の普及に欠かせません。2015 年も多くの人たちの協力で、たくさんの人たちに手渡されました。

▼ オリジナルエコバッグ《400 枚》

赤のバッグは2015年が初めて



▼ ステッカー《1,500 枚》
※協力：株式会社アルファ



▲ ピンバッジ《5,000 個》

▼ eBook

※協力：朝日メディアインターナショナル株式会社



T シャツ
《200 枚》

限定で「親子の日」ロゴマーク入りのTシャツをつくりました。



7月の第4日曜日は
親子の日



ブルース・オズボーンが2003年に「親子の日」を提唱して以来続けている撮影イベントです。今年で13回目になりました。新聞や雑誌、インターネットを通じて全国から多数の応募者があり、その中から102組の親子をご招待させていただきました。遠方からの参加者もあり、たくさんの人たちの大切な思い出作りに協力することができました。撮影した写真は、後日それぞれの親子に1枚ずつ送付。ウェブサイトとオンラインギャラリーでの展覧会で紹介しました。



AM 7:00 スタッフ集合！ スタッフみんなで会場作り



ライティングとカメラの調整



記録とバックアップチーム



AM 9:00 親子の日撮影会受付開始！



受付が終わってよいよ午前部の撮影スタート



参加者親子のボラを撮ってリストを作成



同意書に家族の名前を書き込みます



かぶり物持参の楽しい親子



ブルース・オズボーン撮影応援団



午前の撮影は順調に



お気に入りのLP持参で参加



音響チームも撮影を盛り上げます



PM 6:00 親子で弾ける楽しい時間！



撮影／宮庄宏明（オリンパス株式会社）

午後の部も盛り上がります



なごやかに撮影を待っています



参加者のみなさんにコメントをもらいました



PM 8:00 102組の親子撮影終了



親子の日 の一日

インターネット動画ライブ配信



*撮影会に参加してくださった親子も出演



*CHAN-MIKAもライブ会場から参加



*山口県下松市の井川市長も中継に出演



*J-WAVE 映画上映会場にもアクセス



*撮影の様子も配信

「親子の日」当日、撮影スタジオとなったBBスタジオ広尾にインターネット放送局を開設。山口県下松市、沖縄市、北九州市、シンガポールのほか、東京都内数カ所などを結び、全国の「親子の日」サポーターとのオンライン多元中継を行いました。また、「親子の日」を応援していただいている湘南ビーチFMとの電話中継や、アーティスト電話インタビューなどを番組内で行いました。
協力：鶴沼海岸チャンネル
MC：関智





スーパーフォトセッションに応募する際に写真と一緒に送っていただく応募の動機は、選考のだいじな基準です。「親子の数だけ親子の物語」があり、送っていただく親子のドラマは、どなたの動機もスタッフの心に響くストーリーです。ここに紹介するのは、みなさまから寄せられた応募の動機から抜粋したテキストの一部です。

＊故郷を離れて東京に住むようになってから、親子で会う機会が少なくなっていました。今回新聞で「親子の日」のことを知って、「親子の日」のプレゼントに、母を東京に招待しようと計画しています。私たちのだいじな夏の思い出になるような写真をぜひ撮って下さい。



＊予想もしなかった不幸に見舞われ生活が一変してしまいました。そんな時に思ったことは、こんなときだからこそ、子どもには不幸な思いを少しでもやらげられるように、私が両親から受けたような深い愛情で子どもたちを包んであげなければ……と思いました。今はとても大変ですが、親が笑顔になれば子どもも笑顔になると、希望を持って頑張っています。私たちのとびきりの笑顔を是非残したいと思って応募しました。



＊遠方にいる祖母がガンを患い、闘病生活を送っています。生まれたひ孫に会いたいと言っていたおばあちゃんに、この子を見せに行きたいのですが、わたしも大きな手術を控えているためになかなか会いに行くことができません。親子3人のとびきり素敵な写真を送って少しでも祖母が元気になってほしいと思い、応募させていただきました。



＊離婚のために子どもと会えなくなってから13年。やっと再会することができました。以前、ブルースさんへ会って「親子の日」のことを知り、娘に会うことができたならブルースさんに写真を撮って欲しいと思っていました。やっと訪れたチャンス!!今の自分たちの姿を、記念に残したいと思ひます。ブルースさんのマジックできっと素晴らしいツーショットになると信じています。この機会にぜひ、私たちの写真を撮って下さい。



＊父が他界した時に写真の整理をしていたら、父がまだ若く私たちが子どもだった頃のなつかしい写真がたくさん出てきました。男同士だったせいもあるか、父からいろいろ話を聞くこともなかったので、写真を見ても知らないことだらけで愕然としました。自分も親になって子どもを授かった今、子どもたちにいろいろなことを話しておきたいと思ったし、なによりも笑顔いっぱいの家族の写真が欲しいと心から思いました。ぜひ撮影会に参加したいです。

＊ずっと以前「親子の日」の撮影会に参加して、素敵な写真をプレゼントしていただきました。玄関に飾ってあるその写真は、子どもを叱ったあとや夫婦げんかのあとに眺めると、励まされます。そばにいないことを再発見したり家族で共有できる笑顔の瞬間をまた撮って欲しいと思って応募しました。



＊子ども好きの私たちに三男が誕生したのは8年前。そして、昨年は待望の四男を授かることができました！妊娠後期には体調を崩し、無事産まれるか心配な時期もありましたが、無事に産まれてきてくれたことに、本当に感謝しています。お兄ちゃんたちも、お腹にいたころから「早く会いたいよ」と話しかけてくれたりしており、産まれてからも新しく加わった弟の面倒をよくみてくれて益々仲良しの家族になりました。待望の四男に、「ようこそ！わが家の一員へ！」の気持ちを込めて、素敵な親子写真を撮っていただけたら最高に嬉しいです！



＊映画『OYAKO』の中で、「親子で写真を撮ってもらうことによって親子の距離感が変わった」とコメントされているのを見て、わたしも体験したいと思いました。娘たちは多感な年頃になり親子の関係も変化しつつあります。今しかない時間を記憶に留めておきたいと、応募しました。



＊主人の単身赴任で、家族がそろう機会がなかなかありません。そんな家族ですけど、「親子の日」にオズボーンさんのカメラに納まることが出来たら素敵だと思って、応募しました。選んでいただいたら、子どもたちと一緒に主人の勤務先の東京に行くことにしています。選んでください。



＊「親子の日」に撮影してもらおうということで、夫と私が親になるということを実感して、子どもについて話をするきっかけを増やしていけたらと思っています。そしてまた、子どもが成長してからも、出来上がった写真を見ながら親子について話をするきっかけにしたいと考えています。

＊毎日新聞を愛読していて「親子の日」の記事はいつも微笑ましくて素敵だなと思っていました。自分の両親は高齢で施設に入っているため、なかなか会えないのですが、最近親について考えることが多い日々です。今回もしも、スーパーフォトセッションに参加できたら、子供と写真を撮っていただいて、両親にプレゼントしたいと思っています。



＊オズボーンさんの写真展は、過去に何度も見に行っていて、ずっと憧れの存在でした。昨夏、ようやくわたしにも息子が生まれたので、わが家の親子写真をどうしても撮影していただきたいと思いました。参加できたら最高に嬉しいです！

＊10年ほど前に「親子の日」スーパーフォトセッションに参加したことが、親子の時間を改めて考えるきっかけとなっています。以前は両親と一緒に撮ってもらいましたが、今回は四人家族になった私たちの風景を撮ってもらいたいと思って応募しました。

＊「親子の日」という言葉の響きが大好きです。わが家の子どもたちは最近、見違えるほどに成長。何でも挑戦するようになり、本当にたくましくなってきました。自信がついた顔つきになってきた彼らを応援する意味を込めて応募しました。今しかないこの大切な時間を、ぜひ撮ってください。



＊以前、ブルースさんに撮影していただいた家族の写真は、私たち親子の絆の象徴として、今でもだいに玄関に飾っています。あれから10年。大きく成長した子どもたちと、夫婦で仲良く子どもたちを見守ってこれた幸せの証の写真を、再び撮影していただけたらと願ひます。主人のお母さんも誘って新幹線でまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



＊子どもたちに、お金では買えない今というこの瞬間を、写真というかたちに残したいと思っています。8月になると主人は海外に転勤するために、子どもとわたしの生活が2年間続くことになっています。主人へのプレゼントをいろいろ考えていましたところ、この写真撮影会のことを知りました。笑顔いっぱいの写真を贈りたいと思っています。ぜひ参加させて下さい。

＊わが家のBig News！ 昨年の7月に待望の女の子が産まれました。「親子の日」の素晴らしいフォトセッションのことは友人からもよく聞いていたので前から興味を持っていました。ぜひともこの機会に、オズボーン先生にわが家の親子記念写真を撮っていただきたく応募しました。



＊息子は先天性の病気を持って生まれ、生後間もない時期から2年間、病院での生活を続けていました。少しずつですがいろいろなことができるようになってはきましたが、まだまだ病と闘う日々が続いています。今まであまり家族写真を撮ったことがなかったのですが、親子で向き合っていくこれからの長〜い闘病生活の力になるのではないかと応募しました。

親子の日 2015 写真コンテスト／公式イベント

写真コンテストは、今回で12回目をむかえました。2014年同様に2015年も、オリンパスが運営する写真投稿コミュニティサイトのFotoPusを使って実施しました。応募総数は1590点。昨年にも増して個性の光る作品が多く寄せられ、楽しく審査会をすることができました。毎日新聞社において厳選な審査を行なった結果、24点の受賞作品が選ばれました。

◆親子の日写真コンテスト＜グランプリ＞



キボン

◆オリンパス賞



かさかさ (福井県)



ゆうこねこ (滋賀県)

◆オーティコン みみとも賞



ユー- (長野県)



-Masa- (福岡県)

孫の世話するジジ (熊本県)

◆三菱地所・サイモン賞



雉 (北海道)



nyaoko0222



mekk

◆キョーリン賞



titan



うめももはなも (山梨県)



森の案内人 (群馬県)

◆毎日新聞社賞



素敵な親子 (埼玉県)



yoshitakae (大阪府)



HIROTO



◆エプソン賞



ありみ

◆「親子の日」賞



あいちゃんカメラ (愛知県)

◆円谷プロ賞



ワラヂマル

◆DAC賞



なのすけ (東京都)

◆DAC旅モ二賞



たかしパパ (東京都)



MUTSUO (茨城県)



SUMAO (沖縄県)



てしくん (新潟県)



aya0913

TOPIC



新しい試みとして、「写真コンテスト」の入賞者の作品をDVDにまとめました。制作は、「親子の日」の応援に参加して下さった、GMT foto @KitaQ 会員でプロカメラマンの石川 亮介さんです。

親子の日 2015 エッセイコンテスト／公式イベント

第11回目をむかえた「親子の日エッセイコンテスト」には、学校や学習塾からの応募や海外からの応募も増え、813点もの作品が集まりました。いろいろな環境を背景に語られる親子のさまざまなストーリーは、審査員それぞれの心に響き、感動しながら読ませていただきました。

受賞者は以下の22名に決定いたしました。



◆オリンパス賞

堀江千春 (埼玉県)
「ふたつの親孝行」
尾種栄春 (奈良県)
「打ち当たる？」

◆キョーリン賞

土松真理子 (岐阜県)
「贈り物」
和久井由紀子 (New Zealand)
「元気でおれよ」「うん」
生越寛子 (大阪府)
「父のお弁当」

◆「親子の日」賞

早川忠隆 (千葉県)
「母さんどこいった!？」
川崎貴大 (奈良県)
「コーラ買ったぞ」
山下茂 (兵庫県)
「育児と介護の同時進行」
上田利栄子 (三重県)
「そっくりなおでこ」
宇都宮智会 (東京都)
「無題」
互野祐加 (神奈川県)
「子が鏡」
谷関幸子 (東京都)
「お母さん。やってみれば」

◆オーティコン賞

杉本睦実 (東京都)
「神さまの与えた試練」
湯浅範子 (富山県)
「そんなあなた」
萩原勝広 (静岡県)
「トンネルの中で息を止めること」

◆毎日新聞社賞

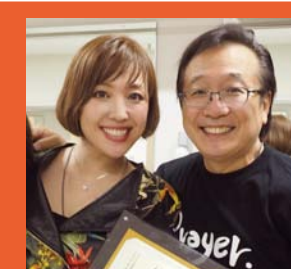
江原育 (新潟県)
「娘と母の間で」
星歩花 (山形県)
「えがお」
小屋松千晶 (熊本県)
「マッサージ」

◆三菱地所・サイモン賞

出口貴美子 (東京都)
「うちの母ちゃんスーパー母ちゃん」
古山衣緒 (東京都)
「無題」
田所希佳子 (France)
「父にとって人生最悪の日」

◆円谷プロ賞

中里智史 (東京都)
「しあわせな片思い」



「親子大賞 2015」は平原まこと平原綾香さん親子に決定!

「親子」について考えるきっかけになって欲しいとの願いから、輝いている親子を投票で選ぶ「親子大賞」を毎年実施しています。

9回目となる2015年の「親子大賞」に選ばれたのは、マルチタックスプレイヤーの平原まことさんと、シンガーソングライターで、サクソフォン奏者の平原綾香さん親子。今回で3回目の受賞です。これを機に、平原親子には「親子大使」の仲間に加わっていただきました。

お二人の親子エネルギーがみんなの心に届いて、世の中の元気が倍増するよう、願わずにはられません。

ブルース・オズボーンさんが提唱している「親子の日」は、今年で13回目を迎えます。親が子どもを思い、子が親に感謝することを、日々の中で当たり前と思っているはずですが、この日は特に“親と子がお互いのことを強く思う日”と位置づけられ、もっと素敵に生きられるのではないかなと、家族で話し合っています。これからも「平原さんちのコンサート」を通して、音楽で語り合う時間を大切にしていきたいです。「親子の日」を応援しています。

平原まこと (サクソ奏者)
平原綾香 (歌手)



オリンパス株式会社

「親子の日」設立2年目から応援を続けて下さっているオリンパス株式会社は、「親子の日」協賛企業として最初の企業で、今年で応援をいただいて12年目となります。2015年も、オリンパス株式会社の公式ホームページのトップで「親子の日」を告知。オリンパス株式会社が運営する写真投稿コミュニティサイト「FotoPus（フォトパス）」のプラットフォームで「親子の日写真コンテスト」を実施しました。スーパーフォトセッションには、社員がボランティアとして参加。共催イベント「親子の日」写真展も12回目を迎えることができました。

また、2015年初となった「親子の日写真コンテスト：グランプリ」の賞品として、高級デジタル一眼カメラ OM-D E-M5 Mark II をご提供いただきました。



オーティコン株式会社

特別協賛企業として、2015年も「親子の日」を応援して下さったオーティコン補聴器は、全国各地から招待された5組の親子が、「親子の日」スーパーフォトセッション前日に上京して東京見物をする「みみとも親子ツアー」を恒例の企画として実施。「親子の日」当日にはスーパーフォトセッションに参加して交流を深めました。撮影した写真は後日オーティコンから参加者に贈られ、非常に喜んでいただくことができました。また、沖縄の琉球補聴器との協力で実現した「沖縄の親子」撮影会や、沖縄県立博物館・美術館での写真展、新商品発表会での写真展示会なども実施。年間を通じて「親子の日」を伝えるためのプロモーションを展開して下さいました。



▲今年の撮影会は沖縄県の宝物、首里城で行いました



DACグループ

DACグループは、2013年に「親子の日」特別協賛企業となり、同年に設立されたDAC未来サポート文化事業団の主催で、第3回となる「親子の日絆（KIZUNA）コンクール」を実施。東京都台東区・北海道余市郡仁木町・大分県杵築市の小学校3年生～6年生を対象に、作文＋絵（もしくは写真）の作品を募集しました。審査会には、ブルース・オズボーンを審査委員長に迎え、最優秀賞と優秀賞を選出。最優秀賞を受賞した仁木町・杵築市在住の親子3組には、特典として8月3日～5日に東京旅行が、東京在住の親子3組には8月7日～9日に北海道旅行が贈られ、絆（KIZUNA）コンクールの趣旨のとおりに、親子の絆を確かめあってきました。



▲「親子の日絆（KIZUNA）コンクール」受賞者の3人と記念写真を撮るDACの石川和則社長

あいプラン

北海道札幌市に本社を持つあいプランが、特別協賛として加わって下さいました。参加資格は北海道在住者という親子写真のコンテストを実施し、400点以上の応募作品がありました。大賞には石田めぐみさんが選ばれ、副賞として「親子の日」当日に、東京のメインスタジオで100組の親子を撮影する「スーパーフォトセッション」に被写体の1人として参加。受賞作品は7月にウェブサイトで発表され、7月24日（金）～26日（日）に札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）で展示が行われました。



◀豊かな自然をバックに北海道らしさが光る作品が集まりました

三菱地所・サイモン株式会社

特別協賛企業として2回目になる三菱地所・サイモンは、仙台泉（宮城県仙台市）、あみ（茨城県稲敷郡阿見町）、酒々井（千葉県印旛郡酒々井町）の3つのプレミアム・アウトレットで、お客様を対象にした親子写真撮影会を実施。「親子の日」の普及にご尽力いただき、お客様にも高い評価のイベントを行うことができました。



▲お客様の関心が高かったプレミアムアウトレットでの撮影会風景





キョーリン製薬ホールディングス株式会社

長年「親子の日」を応援し続けて下さっているドクタープログラム株式会社（トリニティーライン）は、2015年から、キョーリン製薬ホールディングス株式会社の一員として、「親子の日」を支えて下さることになりました。Webや会報誌を中心に「親子の日」に込められたメッセージのプロモーションを展開して、たくさんの方々に配信してくださいました。



株式会社円谷プロダクション

年間数多く行われるイベント会場でのチラシ配布とWEBで「親子の日」の記事を掲載。今年もたくさんの会員へのプロモーションをしてくださいました。円谷プロのカレンダーには、今年も「親子の日」が掲載されています。



J-WAVE

「親子の日」当日にFMラジオ局J-WAVEとくスカパー！ presents J-WAVE POP UP! 親子の日 SPECIAL FILM & PHOTO SESSIONという映画上映会を企画。多くの人から愛されている映画「フランダースの犬」の上映会を実施。親子の日普及推進委員会から派遣した写真家2人が、上映前に約300名の親子写真を撮影し、上映後にプリントした写真をプレゼントしました。



photo by Yoshiro Higai



エプソン販売株式会社

「親子の日」当日に行うスーパーフォトセッションの会場で不可欠な、モニターやプリンター、また当日の印刷物に使う紙とインクは、エプソン販売にご提供いただいています。また、オンラインバスギャラリーでの親子写真展示会での作品制作にもご協力いただきました。



山口県下松市

2013年に「親子の日」を公式に条例化した山口県下松市では、様々なイベントを企画。今年も親子が近づくための楽しいイベントが繰り広げられ、ラジオや新聞のメディアでも多く取り上げられました。



神奈川県逗子市

逗子市では、2015年7月26日（日）から、子育て世代向けのイベントや地域の情報、行政サービスなどを集約して発信する子育てポータルサイト「えがお」を新設。ポータルサイトのキャラクターを市民から公募してイメージが決定しました。キャラクターの名前はサニーと命名。サニーの誕生日は7月第4日曜日の「親子の日」です。また、逗子市恒例のこどもフェスティバルでは、2回目となる映画上映会を行いました。



▲上映終了後には、逗子市の平井竜一市長と、逗子高校の山田寛校長（2015年在籍）、映画に出演した元木行哉さんがステージに登壇。湘南ビーチFMの森川いつみさんの進行でトークイベントを行いました。

毎日新聞社

特別協力として応援してくださっている毎日新聞社は、2015年で7年目になる「親子インタビュー」の記事を定期的に紙面展開して下さっています。紙面を構成するインタビューと写真からは、さまざまなフィールドで活躍する親子の関係が滲み出て、多くの人たちに温かなメッセージを届けることができました。また、紙面出演交渉にもチーム一丸となって取り組んでくださいました。登場した親子によって語られたそれぞれの親子のストーリーは、読者が親子について改めて考えるだじなキッカケとなったことと思います。

▼金子マリ×金子ノブアキ×KenKen 親子（2月15日掲載）

▼ハローキティ×メアリー 親子（5月10日掲載）

▼逢坂剛×須川美里 親子（6月21日掲載）



▶品川八重子×辻口博啓親子（7月26日掲載）



▼東儀秀樹×東儀典親 親子（11月29日掲載）



▲「親子の日」キャンペーン告知



▲映画「OYAKO」自主上映会募集広告

たくさんの撮影会が、北海道から沖縄まで、日本各地で行われました。参加して下さったみなさまのアドバイスに耳を傾け、「親子の日」がさらに飛躍するための努力を続けたいと思います。



日本写真館協会用ポスターには、「親子の日」に参加いただいた写真館の写真から「ブルース・オズボーン賞」に選ばれた写真を使用。写真館との接点がさらに大きくなりました。



◀日本写真館協会
が隔月で発行する
「ザ・写真館」で
は、毎号「親子の
日」通信として「親
子の日」の情報が
掲載されています。



◀日本写真館協会が毎年行っている写真コンテストで、2015年の「親子の日普及推進委員会賞」を受賞した佐藤由章さんと



▲日本写真館協会「親子の日」参加作品を、オリンパスギャラリー東京、大阪で展示

◆ 協同組合日本写真館協会の取り組み

2015 年「親子の日」に参加していただいた写真館は 75 店舗でした。参加や告知の方法はさまざまでしたが、2016 年も実施したいというみなさまの感想をいただくことができました。それぞれの写真館が撮影した写真は、オリンパスで行ったブルース・オズボーンの写真展と同時に展示会を開催しました。今後このイベントが定着していくためには、まだ改良点もありますが、たくさんの写真館が参加してもらえる事業として確立していくように試行錯誤を重ねていきたいと思います。



親子の日普及推進委員会から「親子の日」に参加いただいた写真真館「親子の日2015」実施結果報告

親子の日普及推進委員会から「親子の日」に参加いただいた写真館とお客様に向けてQ&Aをいたしました



Q 告知の方法はどのようにしましたか？

- ・ポスターを店頭が目立ように貼った
- ・参加募集のチラシの配布（自社で作成）
- ・DMを顧客へ送付
- ・地元の実行委員会が積極的にチラシなどを配布してくれた
- ・WEBを使って告知した

Q 撮影イベントの日時(期間)

- ・「親子の日」7月26日のみ
- ・7月25日&26日
- ・7月11日～8月18日
- ・7月26日&8月2日の2日間

Q 撮影イベントの場所は？

- ・自社スタジオ
- ・屋外（天候によっては自社ビルで撮影予定）
- ・仮設スタジオを作った

Q イベントの方法をお聞かせください

- ・ 20才以上の親子限定
 - ・ HPや広告に写真を載せてもOKな方。服装は自由
 - ・ 参加費 3000円（F3 キャンパスフレームでお渡し）
 - ・ 地域振興商品券も使用可能にして実施
 - ・ 撮影した写真はキャビネサイズにプリント（後日額装して店頭お渡し）
 - ・ ホームページに「親子の日」ページを作成し、別カットをモノクロにして掲載（追加で注文を受けることができた）
 - ・ 写真展開催の中の撮影会として実施
 - ・ イベントスペースを借り、自店の子供の写真展と同時に「親子の日」無料撮影会を開催（後日手札サイズ写真をプレゼント）
 - ・ 参加料金は¥7,000（6切コース）と¥9,000（4切コース）
- 撮影後に銀行で写真展を開催
- ・ 参加費は 500円（キャビネのプリントを1枚プレゼント）
 - ・ 親子写真はホームページに掲載。地元新聞で紹介された

Q 参加されたお客様からのコメントを紹介して下さい

- ・スタジオでの撮影の楽しさを味わえた
- ・自分では撮れない写真の良さを感じることができた
- ・家族写真を残す良い機会なので、来年もぜひ参加したい
- ・通常料金と違って低価格だったので参加しやすかった
- ・友人から口コミで聞いて来てみたけど、楽しかった
- ・毎年参加しているので、我家の楽しみになっている
- ・自分の写真がオズボーンさんの親子写真と一緒に展示されたので嬉しかった
- ・撮影無料なのでさすがにいっぱいかと思ひ躊躇したけど、思い切って応募して撮影してもらえて良かった
- ・家族写真を撮りたかったので、実現でき良い機会だった

Q 写真館としての可能性は？

- ・お客様に親しみを持って頻繁に来てくれる写真館づくり
- ・自社の PR、ビジネスのチャンスを積極的に作る
- ・お客様（地域の人）へのサービスがリピーターにもつがる
- ・写真館としての学びの場
- ・地域のネットワークをつくって協働の場を広げる
- ・未来への贈り物を提供（親子の様子を写真として残すこと）
- ・異なった市場領域の開拓
- ・地域に住む親子を応援。絆づくりのサポート
- ・新しい写真館のイメージ作り
- ・ソーシャルな活動を通じて写真館の在り方を次世代に伝える場
- ・「親子の日」に参加することで再認識する写真館としての誇り
- ・「親子の日」の普及推進の応援

Q 参加した人数

- ・ 2 組 / 親子は 3 名 (他の撮影会と同時に開催) / 11 組 /
15 組 (親子であれば撮影人数問わず、ペットも可) / 23 組 /
43 組 / 50 組 / 200 組以上 (実施中の延べ人数)

さまざまなスタイルの親子撮影会が、思い思いのアイデアで行われました

愛知県児童総合センター



「親子の日」の応援イベントとして恒例となった、「セルフタイマーで撮る家族の嬉しい顔」のイベントスペースが、今年も愛知県児童総合センター会場に設けられて、たくさんの親子が参加しました。

◀会場に設置されたセルフィーで撮影した親子写真の数々

GMTfoto_KitaQ



36歳 長子の日、撮影会を中止した理由
「お母さん、早く帰ってね」
「早く帰るから、早く帰るから」
「早く帰るから、早く帰るから」
「早く帰るから、早く帰るから」



た。撮影した写真は、
ビーやイベントスベ
で、「親子の日」の思
に伝えていただくこと

STUDIO BEAR

「親子の日」応援写真家の熊谷正氏と高橋まゆみ氏は、今年も「親子の日」撮影会を企画。株式会社ケンコー・トキナーの中野にあるスタジオで撮影会を実施。5月2日、3日、6月21日、7月26日と4日間に渡っての撮影会を行いました。



公式サイト「各地のイベント」に登録された情報

年々増加する「各地のイベント」へのアクセスに登録いただく事業の内容は本当にさまざまです。生活のすべてに「親子」というキーワードとの接点があるということの証ではないでしょうか。



＊このママそのママありのママ
(神奈川県横浜市)



＊「親子で楽しむ読み聞かせと運動遊びと食育の会」
(東京都国立市)



＊親子写真コンテスト
(青森県八戸市)



＊ディズニー・スタジオ



＊親子写真コンテスト
(神奈川県横浜市)



＊SONIC ACADEMY FES 2015
(東京都港区)



＊キミドリリボン運動
「離れていたって親子は親子！
もっと一緒に過ごしたい！」
(東京都台東区)



＊0～3歳の子どもと聴く
はじめてのオーケストラ
(東京都渋谷区)



＊ママたちによる0歳から
楽しめる音楽会
(神奈川県横浜市)



＊親子写真コンテスト
(神奈川県横浜市)



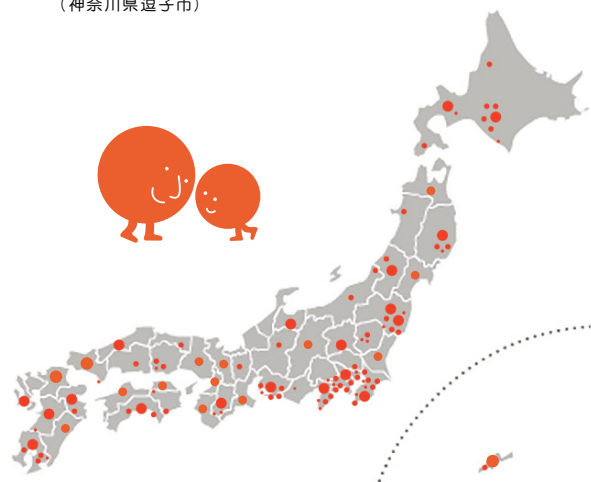
＊親子写真コンテスト
(神奈川県横浜市)



＊親子写真コンテスト
(神奈川県横浜市)



＊ボーンランドプレイヴィル天王寺公園
(大阪府大阪市)



映画「OYAKO」年間情報

映画「OYAKO」が、独立系作品を対象とするベルリンの国際映画祭でベストドキュメンタリー賞を受賞したことは、2015年のハイライトの一つでした。報告書に掲載した映画上映会以外にも、北木島シネマ(岡山県笠岡市)、加茂・久代・小学校区人権啓発推進委員会(兵庫県川西市)、子育てひろば「きらきら」親子の会(東京都葛飾かみこまつ保育園内)など、各地で上映会が実施されました。



▲ ifab (ベルリンの国際映画祭) から贈られた証書

◆ 逗子子どもフェスティバル 3月27日／神奈川県逗子市



逗子子どもフェスティバルの会期中、2回目となる映画上映会を開催。オープニングでは、映画「OYAKO」に出演した俳優の元木行哉さんが、「親子の日」のエッセイコンテスト入賞作品の朗読をしてくだしました。

◀「親子の日」のエッセイコンテスト入賞作品を朗読する元木行哉さん

◆ 「OYAKO」上映会 6月6日／東京都多摩市

TAMA 映画フォーラム実行委員会主催の「OYAKO」上映会が、多摩プラザで開催されました。上映会のあとでトークショーがあり、地元のお母さんたちから、親子について、子育てについてなどの熱心な質疑応答が行われました。



◀イベントのために活躍してくださったスタッフのみなさんと記念撮影

◆ 第9回社会デザイン学会公開研究会 6月13日／東京都豊島区

立教大学に本部を持つ21世紀社会デザイン学会で、ワークショップの一環として映画「OYAKO」の上映会を実施。上映会後、ワールド・カフェという手法でワークショップが行われ、参加者全員がそれぞれの思いを発表しました。



▲グループごとに思いを書き込んだワークシート



▲上映会後のグループワーク風景

◆ お母さん新聞の「乾杯パーティー」 7月30日／神奈川県逗子市

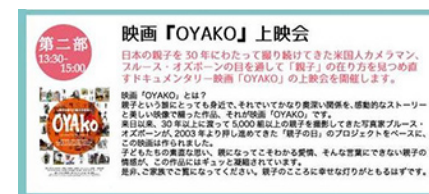
日頃、子育てを頑張っている自分に、そして自分の夢に乾杯！と、お母さん業界新聞恒例、24回目の「乾杯パーティー」が、逗子市のsurfersで行われました。全国各地からお母さん業界新聞の関係者が参加し、映画「OYAKO」の上映会とRickie-Gのライブイベントが行われました。



▲「映画「OYAKO」に楽曲を提供してくださったRickie-Gのライブ

◆ 「はぴはぴ」とトツキトウカプロジェクト 9月3日／神奈川県横浜市

フリーマガジンを発行する「はぴはぴ」と赤ちゃんへ詩を贈るプロジェクト「トツキトウカ」のコラボイベントが神奈川県民センターのかなっくホールで行われました。第一部はママ業界のカリスマとして多くのファンを持つ「ひろっしゅコーチ」こと山崎洋実さんの公演。第二部が「OYAKO」の上映会でした。



こと山崎洋実さんの公演。第二部が「OYAKO」の上映会でした。

◆ Open Temple あいあう

西願寺本堂会場 9月27日／大阪府堺市北区

おうち cafe モモ会場 9月28日／大阪府堺市北区

上映会のあとで、会場に集まったお母さんたちと会食をしながらのトークがあり、楽しい時を過ごしました。



◀活発に交わされた意見からお母さんたちの日常を垣間みることができました



7月の第4日曜日は
親子の日

撮影会

◆ 葉山マリンフェスタ 9月6日

今年で7年目となる葉山マリンフェスタに「親子の日」が参加し、会場となった神奈川県葉山公園下の大浜で、「BRUCE OSBORN-Barefoot Studio」を実施。会場を訪れた親子の写真を撮ってプレゼントしました。当日は天候にも恵まれ、潮風が心地よい浜で、たくさんの親子と楽しい時間を過ごしました。



◆ 第3回「親子」「友達」エコ宣言撮影会 10月10日

2008年と2010年に越谷のレイクタウンで実施した撮影イベント、「親子」「友達」エコ宣言撮影会が、今年3回目を迎えて実施されました。撮影は、ブルース・オズボーンが担当。2世代～3世代の親子と、地元で活躍する仲間の写真を撮影。撮影された写真作品はそれぞれのエコ宣言と共に、11月下旬からイオンレイクタウン内のmoriとkazeに展示されました。



◆ 湘南の「親子の日」 11月14日

雑誌「湘南スタイル」が企画する〈湘南の親子の日〉の撮影会が、神奈川県辻堂にあるテラスモールで行われました。この撮影イベントはもはや湘南の親子にとって楽しみな名物イベントとなりました。



講演会／トーク／ワークショップ

◆ 逗子高校でワークショップ 1月26日／2月2日

総合学習の一環として実施された神奈川県立逗子高校のワークショップで、ブルース・オズボーンが講師をしました。授業のテーマは〈「写真の可能性」～言語としての写真～〉。東日本大震災後に東北で行ったワークショップ〈I TIE ☆ 会いたい〉の形式を生かして生徒たちが日常の声を写真に収めました。作品は、逗子市の市民センターで行われたイベントで展示し、成果を町の人たちに見てもらうことができました。



◆ School of the Arts Singapore 3月12日

シンガポールのアートスクールで、ブルース・オズボーンの講演会開催。生徒たちの積極的な質問に、ブルース・オズボーンは熱心に答えていました。



◆ オリンパスギャラリートーク 9月13日（東京）／9月29日（大阪）

オリンパスギャラリーでの「親子写真展示」会期中に、トークイベントを行いました。テーマは「写真の可能性」。写真を通じて「親子の日」というソーシャルな活動へ導かれた経緯なども話しました。



イベント／セミナー

◆ 横浜 STOVES にて『HOPE2015』 3月11日

映画「OYAKO」に楽曲を提供して下さったCHAN-MIKAが、仲間たちと共に横浜のバー＆レストラン STOVES にて『HOPE 2015』に参加。会場でブルース・オズボーンの写真をバックに演奏しました。収益は東北の復興支援に。



◆ 群馬県営業写真家協会セミナー 4月21日

群馬県営業写真家協会主催のセミナーで群馬県の前橋市に行く機会がありました。写真館の歴史を背負って写真に真摯に向き合う写真館のみなさまの熱意が伝わるセミナーでした。



◆ MARI MIZUKAMI JAZZ LIVE 7月26日

東京都八王子市にある「グランデセオ」で、「親子の日」を応援する水上まりさんのジャズライブが行われました。親子で来場するとワンドリンクプレゼントというおまけ付き。親子でジャズを楽しんでいただくことができました。



◆ 「親子でオムライスを作ろう！」作戦 7月26日

日本パパ料理協会とBistroPapaが「親子でオムライスを作ろう！」作戦で、2015年も参戦しました。〈「親子の日」にはオムライス〉が定着するといいですね！



フォトコンテスト

◆ 協同組合日本写真館協会

全国の写真館から力作が集まった第9回日本写真館コンテストで、ブルース・オズボーンが「親子の日普及推進委員会賞」の審査員をつとめました。入賞したのは、印象派の絵のような優しさ溢れる作品、佐藤由章さんの「おにいちゃんが遊んであげるね」でした。



◆ 公益社団法人全国老人福祉施設協議会

公益社団法人全国老人福祉施設協議会主催、「第8回介護作文・フォトコンテスト」に、審査員としてブルース・オズボーンが招待されました。応募作品は主に、福祉施設での毎日を映したもので、日常の人と人の温もりが垣間みられる貴重な作品の数々でした。



◆ 高校生フォトグランプリ

9月10日に行われた日本写真芸術専門学校主催の「高校生フォトグランプリ」（協賛：オリンパス株式会社）の審査会で、ブルース・オズボーンがゲスト審査委員として、2015年も招待されました。



ピースボートの船上で「親子の日」プレゼンテーション

「親子の日」応援団の松崎稔氏（元オリンパス勤務）の協力を得て、映画「OYAKO」上映会、写真撮影会、エッセイコンテストの公募など、「親子の日」のプロモーションが地球一周クルーズのピースボートの船上で行われ、新たな出会いがうまれました。





各地で実施された写真展

◆「親子の日 2015 ～親子の日に出会った親子～」

オリンパスギャラリー

9月11日～16日／東京 9月24日～10月1日／大阪

恒例の写真展「親子の日 2015 ～親子の日に出会った親子～」を、親子の日普及推進委員会とオリンパス株式会社との共催でおこないました。千代田区神田の小川町から新宿区に移転した新しいギャラリーでの初めての展覧会。新しい会場はアクセスも良く、会期中はたくさんの来場者があり温かいコメントを数多くいただくことができました。



▲思い出に残る102組の親子写真が会場いっぱいに展示されました

◆《写真展 OYAKO》

逗子文化プラザ／神奈川県逗子市 3月27日～29日

逗子子どもフェスティバルに参加した親子の日普及推進委員会は、逗子文化プラザで、映画上映にあわせて写真展も行いました。スペースいっぱいに展示された写真に、市民の方たちから共感のメッセージをたくさんいただくことができました。



▲たくさんの人が来場して熱心に写真を見ていただきました

◆《OYAKO parents & children photo exhibition by Bruce Osborn》

日本外国人特派員協会／東京都千代田区 7月4日～31日

外国人のジャーナリストが集まる日本外国人特派員協会（FCCJ）で、ブルース・オズボーンの親子写真展が行われ、「親子の日」海外発信のきっかけとなりました。



▲ジャーナリストが多く集まる会場での展覧会風景

◆《ブルース・オズボーン「親子の日」写真展》

葛飾区新小岩北地区センター／東京都葛飾区東新小岩 7月12日

子育てひろば「きらきら」親子の会（かみこまつ保育園）の主催で、映画上映会と写真展が実施されました。来場者のそれぞれにとって、親子の絆を考えるきっかけづくりができたそうです。



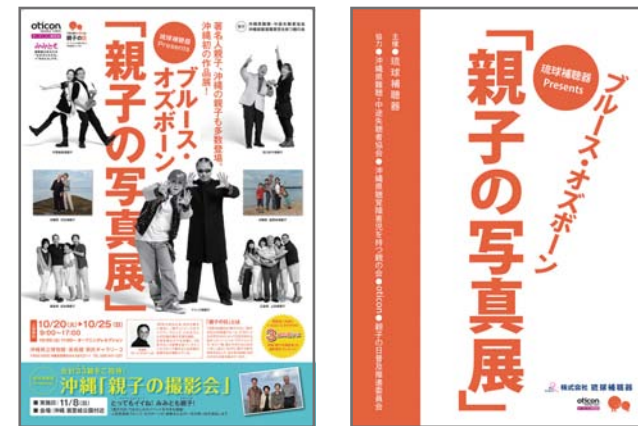
▲園内に設置された展示会場

◆《ブルース・オズボーン「親子の写真展」》

沖縄県立博物館・美術館／沖縄県那覇市おもろまち

10月20日～25日

常に新しい試みでアートの発信をする沖縄県立博物館・美術館で、写真展を行いました。主催は「親子の日」を沖縄から応援して下さっている琉球補聴器です。



▲親子での来場者も多かった会場の風景

写真展会期中に映画の上映会も数多く行われました

◆《写真展 OYAKO 2015 北九州》

ひびしんギャラリー／福岡県北九州市 11月2日～30日

GMTfoto_KitaQに参加する写真家が、「親子の日」に撮影した写真を福岡ひびき信用金庫に展示。地元に住む人たちとのコラボレーションができました。2016年の活動も楽しみです。



▲福岡ひびき信用金庫の特設会場での展示風景

◆《親子ミニ写真展》

多摩プラザ／東京都多摩市 6月6日

TAMA映画フォーラム実行委員会実施の映画「OYAKO」上映会場で、写真展の同時開催が行われました。



◆《ブルース・オズボーン写真展》

茶の間「吟」／奈良県奈良市 6月1日～28日

奈良の会席料理店「吟」では、地元の写真館とコラボレーションをして2回目となる写真展が開催されました。



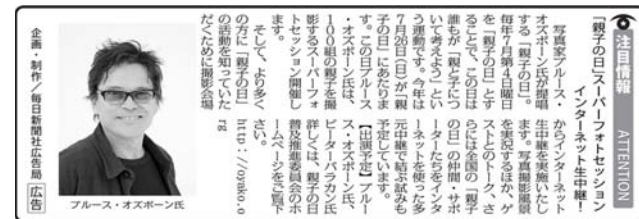
7月の第4日曜日は
親子の日



◆ 新聞

* 毎日新聞

連載中の「親子インタビュー」以外にも、毎日新聞にはたくさんの記事が掲載され、「親子の日」にご尽力をいただきました。



▲ 注目情報 / ATTENTION



▲ 人・模・様 (ひと・もよう) / ブルース・オズボーン紹介



▲ 日本外国人特派員クラブで展覧会



▲ 「親子大賞」発表



▲ 親子フォトセッション / 山科武司 (記事と写真)

* お母さん業界新聞

全国で10万人の読者を持つお母さん業界新聞は、「スーパーフォトセッション」で撮影した親子写真を紙面の表紙に使い、写真の親子にインタビューした記事も掲載しています。また年間を通じて、映画「OYAKO」の自主上映を呼び掛けるスペースを提供して下さっています。



* 財経新聞

株式会社財経新聞社が運営するオンライン新聞では「親子の日」のイベント記事を、折に触れて掲載してくださいました。「親子の日」が経済効果をもたらす事業として活用するきっかけになるかもしれません。



▲ 報道の裏のウラ / 「親子の日」イベントに参加して

◆ 雑誌

* 湘南スタイル

インテリアショップ ACTUS の協力を得て、湘南の親子を撮影するイベント「湘南の親子の日」が、湘南テラスモールで実施されました。撮影した写真は、テラスモールにある ACTUS の店内に展示後、各親子にプレゼントをされました。



▲ 個性が光る参加者が集まりました

◆ ラジオ

「親子の日」の活動を、ラジオ番組で報告しました。

* 湘南ビーチ FM

MCの森川いつみさんと「親子の日」について改めてお話しすることができました。



* blue-radio.com

写真家の熊谷正さんの番組「熊谷正の美・日本写真 (Blue-Radio 22:00 On Air)」に出演しました。



◆ テレビ

* 「ENLIGHTENMENT (エンライトメント)」

加藤秀視氏がMCを務める「ENLIGHTENMENT (エンライトメント)」に出演し、写真のこと、「親子の日」の事などを2週間に渡って話しました。



◆ You Tube

* 親子の日スーパーフォトセッション 2015 ドキュメント

「親子の日」の一日を記録して編集した映像です。検索で〈親子の日スーパーフォトセッション 2015 ドキュメント〉にアクセスすると見ることができます。



親子の日スーパーフォトセッション2015ドキュメント





国内メディア情報／ウェブサイト

* あちこち亭



* yoplog



* お母さん大学ニュース



* CAPA カメラネット



* ディズニー・スタジオ



* YAHOO! ニュース



* IMA ONLINE



* デジカメプラス



* デジカメ Watch



* 登竜門



* Tweet Tunnel



* 子連れで社会と繋がる



* 平原綾香ブログ



* グリーنز



* 毎日新聞



* 沖縄県聴覚障害児を持つ親の会



* MdN DESIGN



* 九州ビジネスチャンネル



* 月とみのり



* レイクタウン



* 中国新聞



* 親子の絆をもっと深める



* ガヤニュース



* オヤとコト



* 葉山マリンフェスタ



海外メディア情報／ウェブサイト

* AVEX NEWS



* IODA News



* Linkedin



* WIKIPEDIA





応援メッセージ

素敵なメッセージを送ってくださったみなさま、ありがとうございました！



さわ >>

今年初めて「親子の日」に参加！お客様に呼び掛けて親子撮影会を実施しました。普段と違って、一日中、親子の笑顔と笑い声でいっぱいスタジオでした。来年も「親子の日」には撮影会をしたいと思います。今年で13回目を迎えたという親子の日普及推進委員会のみなさまも、引き続きがんばってください。

LULU >>

ポジティブでエネルギーな作品を制作し続けているオズボーンさんの作品展は見逃さずに出かけています。これからも素敵な作品を撮り続けてください。応援しています。

らいち >>

オズボーンさんの写真展を見に行って、オズボーンさんのファンになりました。私の将来の夢は写真家。人が好きなのでポートレート撮るような仕事を目指しています。被写体の心が和んでいる瞬間を撮るオズボーンさんのような写真を撮れるようになりたいと思っていますけど……そんな写真を撮るための秘密があるなら知りたいです。

pia >>

速くに住んでいるのでなかなか会えない両親を誘って、ブルースさんの写真撮影会に参加！親孝行がやっとできました。

「親子の日」を応援してくださっている「親子大使」からのメッセージ、SNS やメールでいただいた応援メッセージなどは、「親子の日」のパワーアップにつながっています。

雪山 >>

「親子の日」のことを初めて知り、20歳の記念に「親子の日」の撮影会に応募しようと思います。もしも参加出来たら、いつも心配ばかりをかけているお母さんを誘ってみたいです。一緒に撮影会に行ってくれるかな？『親子の日』って知ってる」って聞いてくれた先輩に感謝しないと……



kodomo >>

父親から、映画「OYAKO」を見に行こうと誘われて一緒に行きました。昔から家族には全然無関心だと思っていた父でしたが、映画を見ている真剣な表情を見て、父への思いがちょっとかわりました。日本中の親子に、ぜひこの映画を見て欲しいです。



桜 >>

「親子の日」のエッセイコンテストに入賞したのを知った友人から、祝いのメッセージが届きました。友人のお母さんは今年のお正月亡くなったばかりでしたけど、母親との思い出を書いたエッセイに自分の思い出を重ねて、自分ごとのように喜んでくれました。私にとって大切な母との思い出を書き綴ったエッセイでしたので、一緒に喜んでくれた友人のおかげで、喜びが倍になりました。選んでくださった審査委員のみなさま、ありがとうございました。

へきれき >>

仕事の関係で、「親子」という言葉を検索していたところ、「親子の日」のサイトを発見しました。そこでオズボーンさんの撮った親子写真を見て、感動！私も写真が大好きなので、今度両親と一緒にセルフイーの写真を撮ろうと思いました。「親子の日」素敵ですね！

doodle >>

朝のケンカが原因で、不機嫌な顔のまま息子を学校に送り出してしまっ、猛反省！！今日は「親子の日」だそうです～息子が帰ってきたら、優しく迎えてあげようと心に誓いました。

Q >>

オズボーンさんの「親子」写真集を、友人の家で見て感激。早速、写真集を購入しました。インターネットを見たら、「親子の日」関連のニュースがいっぱいで、「親子の日」に込めたメッセージを読んで、また感動！新しい写真集を出版して欲しいです。



ちこ >>

頭痛が起きたら歯止めが利かなくなってしまう、情けない母親！自分のストレスの矛先はいつも子どもたち！！情けないです。ガンガンに腹を立てたあと、気を沈めようとコンピューターに向かって何気なく「親子」という言葉を検索していたら、「親子の日」という言葉に出会いました。HPにいっぱい掲載されているオズボーンさんの親子写真を見ながら、猛反省しました。



whitey >>

毎日新聞に掲載している「親子インタビュー」をいつも楽しみにしています。「親子の日」という記念日のことも新聞で知りました。当たり前のことなので気がつかなかったりする大事なことです。親子という最小限の絆をしっかりと見つめることが、世界の平和に繋がるという「親子の日」に込められたいじなメッセージが心に響きました。「親子の日」の応援します。

kuku >>

写真館を生業といたします私は、今年、近所の住民に声をかけて、初めて「親子の日」の撮影会を開催いたしました。皆さんにたいへん喜んでいただくことができ、写真館としての新しい方向が見えたように思いました。写真館には地元の人たちの記念日や地域のイベントを記録してきたという歴史があります。「親子の日」というイベントを実施してみて、新たに自覚したことは、地域の人たちや町の変遷を記録する写真館としての使命をこれからもだいにしていこうという思いでした。全国の写真館が積極的に「親子の日」に親子撮影をする日が来るのを念願しています。

羽 >>

まだまだ未熟な私！親としても新米な私たち！！国籍が違う二人のところにやって来ただいじな命！！7月の第4日曜日の「親子の日」にはみんなで写真を撮って、成長していく過程を記録しようと計画しています。

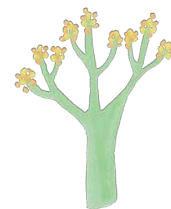
ikura >>

自分の不始末で、子どもたちと10年間会わずにいた父親です。先日新聞の記事で「親子の日」があるということを知りました。この日に、最近だに会えるようになった子どもたちを誘って食事に行こうと思っています。実現できるか不安ですけど、思い切って誘ってみます。



しずこ >>

「親子の日」には優しい響きがありますね。この日をきっかけに、世界中のひとたちが「平和」であることの幸せに目覚めて欲しいです。国境も宗教も超えて……



かかお >>

「スーパーフォトセッション」に招待していただいて、スタジオに行く機会がありました。最初は、家族全員緊張しっぱなしでしたが、スタッフの方やブルースさんの優しい雰囲気、リラックスできました。どんな写真ができたか……楽しみです。

じゃーなる >>

友人からのお知らせメールで、ブルース・オズボーン写真展に行ってきました。温かな写真展会場で一枚一枚写真を眺めていたら、両親が恋しくなって来て思わず涙を！「なんでもないけど……」という私の声を聞いて、母がちょっと不審がってました。



アニマル浜口
(元プロレスラー)
浜口京子
(レスリング選手)
Animal Hamaguchi
former Pro-wrestler
Kyoko Hamaguchi
freestyle wrestler & Olympic medalist

「親子大使」からのメッセージ

Being too strict can make people hard-hearted,
but too much coddling can ruin their lives.
When I'm training my daughter for wrestling and I push her hard,
my wife Hatsue follows behind with words of affection.
Then, when I get home, I get my own dose of discipline.
“You call it training but it's no better than bullying”
she cries out, right in front of Kyoko, who completes the circle by saying,
“Don't be so mean to Papa.”
That's how it is in the Hamaguchi Arena.
It is the Oyako's fate,
to harmonize the strict and generous.
“OYAKO DAY” - I love you !!



7月の第4日曜日は
親子の日



「親子の日」のあゆみ

2003 はじめての「親子の日」

ブルース・オズボーンの自主企画として 100組の親子を撮影

- ・「親子の日普及推進委員会」発足

2004 2回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリーにて「親子」写真展
- ・第1回「親子の日写真コンテスト」

2005 3回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- ・「親子の日」を記念日協会に正式登録
- ・TV金沢の主催により金沢21世紀美術館で「親子」写真展。会場内特設スタジオでの公開親子撮影会で石川県の親子30組を撮影

2006 4回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 105組の親子を撮影

- ・日本外国人特派員協会（FCCJ）にて、「親子」写真展
- ・日本写真館協会の主催イベントで大阪の親子 30 組を撮影
- ・愛知県児童総合センターで「親子」写真展
- ・第1回目「親子の日エッセイコンテスト」
- ・オリンパスギャラリーで「ブルース・オズボーンと親子写真」

2007 5回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリーで「親子の日報告写真展」
- ・第1回「親子大賞」
- ・愛知県児童総合センターで「親子」写真展
- ・能登半島地震の被災者親子写真を撮影。ラポルト珠洲で展覧会
- ・石川県珠洲市が、「親子の日」を公式制定

2008 6回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリーで「親子の日報告写真展」
- ・愛知県児童総合センターで「親子」写真展
- ・埼玉県越谷市のレイクタウンで「親子&仲間」写真展

2009 7回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリーで（東京・大阪）「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2009 に出会った親子～」
- ・東京ビッグサイト「Photo Imaging Expo 2009」で撮影とトークイベントに参加
- ・毎日新聞が「親子インタビュー」の連載をスタート



- ・arpの“わたしのこえ”を第1回公式ソングと決定
- ・川崎アートセンター企画の「夏休みは親子de映画」に参加
- ・阪急三番街 40 周年記念イベント「親子写真展」
- ・愛知県児童総合センターで「家族のうれしい顔」写真展

2010 8回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 104組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリーで（東京・大阪）「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2010 に出会った親子～」
- ・滋賀県米原市が、「親子の日」の制定を宣言
- ・MOOMINの「うまれたての瞳」が 2010 年公式ソングと決定し、銀座アップルシアターで「親子の日」普及のコラボレーション
- ・毎日新聞が「親子インタビュー」の連載スタート
- ・「親子大使」制度の導入
- ・海外で高い評価を受けたブルース・オズボーン撮影の親子写真が International Photography Awards を受賞
- ・第4回キッズデザイン賞に入賞

2011 9回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 110組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2011に出会った親子～」
- ・第一回被災地訪問プロジェクトで、相馬の親子を撮影
- ・滋賀県米原駅で「水源の里まいばら OYAKO 写真展」かけがえないもの” with ブルース・オズボーン」
- ・第二回被災地訪問プロジェクトで、岩手県の宮古市、大船渡市、釜石市、大槌町、田老町、宮城県の気仙沼、南三陸町で親子撮影を実施
- ・CIPA フォトエイドの助成を受けて、東日本被災地応援プロジェクト「ITIE ☆会いたい」スタート

2012 10回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 110組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2012に出会った親子～」
- ・NHKワールドで、ブルース・オズボーンの活動を世界に向け発信

- ・東日本被災地応援プロジェクト「ITIE ☆会いたい」のワークショップを、南三陸、仙台市、大槌町、田老町、相馬市で
- ・滋賀県米原市 J R 米原駅のステーションギャラリーで「かけがえないもの～東北で出会った親子たち～」写真展示
- ・書家の紫舟氏とコラボレーション
- ・静岡県美術館で「親子写真展～未来の私たちへの贈り物～」。ピーター・バラカンとトークショーも
- ・新宿芸能花伝舎でおこなった、「新宿でつながろう！東北」に参加。「ITIE ☆会いたい」で制作をした写真展示と映像上映を
- ・「東日本大震災復興支援ブックレット」を制作
- ・アル・プラザ城陽で「親子バナー写真展」
- ・10周年記念イベントとして「親子」をテーマに映画の製作をスタート
- ・赤坂サカス内の赤坂ギャラリーで「ITIE ☆会いたい」報告写真展
- ・兵庫県淡路市、南あわじ市で「ITIE ☆会いたい」報告写真展

2013 11回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 103組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2013に出会った親子～」開催
- ・末広町 3331 で「ITIE ☆会いたい」で制作した作品展示会とワークショップ
- ・新潟放送主催で「ITIE ☆会いたい」展示会とワークショップ
- ・YMCA 横浜が「ITIE ☆会いたい」展示会とワークショップ
- ・JICA で「ITIE ☆会いたい」展示会
- ・葉山芸術祭で「ITIE ☆会いたい」作品展示会とワークショップ
- ・クーリーズクリークで、映画「OYAKO」の製作開始の発表イベント
- ・世田谷ものづくり学校でワークショップ
- ・銀座和光で「親子写真」の展示会
- ・六本木の新世界でライブトークイベント
- ・山口県下松市が「親子の日」の条例化を宣言
- ・DAYS JAPAN 主催イベント「いのちの地球に生きる」に参加。被災地で出会った親子の写真を展示
- ・韓国で行われた写真館の全国会議で「親子の日」のセミナー
- ・日本写真館協会のイベントに参加。コラボレーション決定
- ・沖縄県那覇市の識名園で親子撮影会
- ・ILCA の学校で映画のプロモーションイベント
- ・山口県下松市で展覧会と映画の試写上映会

2014 12回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 105組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2014に出会った親子～」
- ・下松市と釜石市の高校生合同のワークショップ「ITIE ☆会いたい」を山口県下松市で

- ・日本外国人特派員協会（FCCJ）で、映画「OYAKO」プレス発表
- ・逗子なぎさホールで、葉山芸術祭の参加イベントとして映画「OYAKO」を上映。同会場で写真展
- ・日本写真館協会が実施「第8回写真館賞」の審査員
- ・東京都写真美術館で基調講演
- ・箱根写真美術館で写真展
- ・東京都写真美術館で映画「OYAKO」の上映会
- ・日本写真館協会が実施「第8回写真館賞」の審査員をつとめる
- ・東京都写真美術館で、映画「OYAKO」の上映会実施
- ・山口県下松市での親子写真展示会&映画「OYAKO」上映
- ・神奈川県庁舎と沖縄の桜坂劇場で映画「OYAKO」を上映
- ・ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン（於:赤れんが倉庫）の授賞式でブルース・オズボーンが基調講演
- ・東北生活文化大学高等学校で行われた「平和を想う日」に、ブルース・オズボーンが基調講演&映画「OYAKO」上映

2015 13回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 102組の親子を撮影

- ・オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2015に出会った親子～」
- ・撮影会場から3回目となるインターネット中継を配信
- ・第12回目「写真コンテスト」、第10回目「エッセイコンテスト」第9回「親子大賞」を開催
- ・逗子こどもフェスティバル、TAMA 映画フォーラム実行委員会、加茂・久代・小学校区人権啓発推進委員会、お母さん業界新聞主催「乾杯パーティー」などで映画上映会
- ・「親子の日」を条例化した山口県下松市で、数々の「親子の日」イベントを実施
- ・日本写真館協会とのコラボレーション事業「親子の日には写真館へ！」を実施。同協会主催写真コンテストの審査委員を
- ・日本外国人特派員協会（FCCJ）で「親子」写真展
- ・三菱地所・サイモン主催の第2回親子撮影イベント
- ・DAC 主催の第3回「親子の日絆（KIZUNA）コンクール」の審査委員長
- ・日本写真芸術専門学校で行った写真コンテストの審査委員
- ・「湘南の親子の日」5回目の撮影会
- ・シンガポールの School of the Arts Singapore (SOTA) でトークショー
- ・沖縄県立博物館・美術館、逗子文化プラザで写真展
- ・第9回社会デザイン学会公開研究会に講師として出席
- ・2016 年にシンガポールでの展覧会と映画上映会が決定



金沢 21 世紀美術館での「親子」写真展



barefoot studio 撮影風景



米原駅ステーションギャラリー



被災地訪問プロジェクト



「ITIE ☆会いたい」ワークショップ



葉山芸術祭



「親子の日」10 周年！